

蓮代寺こども園 農園開園セレモニー及び コミュニティバス運行のご報告



コミュニティバスについて

蓮代寺こども園では、社会福祉法人に求められる公益事業として、地域の買い物支援事業を実施すべく、令和2年4月に事業賛同者から寄付を受け、通園にも利用できるコミュニティバスを導入しております。

新型コロナウイルス感染禍で事業開始は遅れましたが、この度、町内会や福祉関係者の皆様の協力を得て、運行開始の運びとなりました。



蓮代寺こども園は、平成30年4月より小松市立保育所から民営化し、令和3年3月に移転新築した現園舎で教育・保育を行っています。

旧園舎は山あい立地し、そこでは、豊かな自然のままの姿に包まれながら、春は鶯のさえずりを聴き、薄紫の藤の花を愛で、夏は数々の草花が可憐に咲き誇る中、カナヘビを見つけて歓声を上げていました。秋にはバッタやコオロギや、ススキの合間を飛び交う赤とんぼを追いかけて遊びました。また大好きだったビオトープではオタマジャクシやメダカやタニシなどを見つけて楽しんでいました新園舎に移ってから、山や林を望み、田畑に囲まれ、風や雲の動きや虹といった自然現象や四季折々の野山の姿を身近に感じてきました。自然の豊かさとともに、自然からの学びの大きさを実感してきたからこそ、子どもたちにはもっと直に触れさせたい、五感で感じて欲しいとの思いが募りました。

この度、優良農地であった隣接の田んぼを、耕作地を持たない社会福祉法人でも、教育目的の農地として「農地法3条申請」で購入することが叶い、教育と食育を推進できる『こども農園』を開園することとなりました。

農園には、小さな田んぼと四季ごとの4つの畑を作り、数々の果物の木を植えました。また、蓮池には、さっそくトンボや水カマキリがやってきています。果物の木は今はまだ苗木ではありますが、これから大きく生長していくであろう木々に負けないように、この農園を、地域の皆様、保護者の皆様のお知恵とご協力をいただきながら、子どもたちと共に、大きく育てていきたいと思えます。

また、社会福祉法人に求められる地域貢献事業として、地域の買い物支援事業(コミュニティバス)『スマイルサポート』を町内会や福祉関係者のご協力を得て実施することとなりました。

この度のこども農園開園とコミュニティバス運行開始にあたり、ご理解とご協力をいただきました地域の皆様はじめ関係者の皆様には、心より感謝申し上げます。

式次第

- ・はじめのことば
- ・主催者挨拶
- ・祝辞
- ・お礼のことば
- ・記念植樹
- ・コミュニティバス運行ご報告
- ・おわりのことば

